

『サポマネ※通信』では、サポマネ研修事務局からの情報発信として、バリアフリーに関する最新の動向や、研修の開催情報などを定期的にお届けします！

※「サポマネ」は、交通サポートマネージャー研修の修了者に対して認定する「交通サポートマネージャー」の略称です。

今後の開催スケジュール

2026年度 交通サポートマネージャー研修 (2日間の研修)

障害のある方、高齢の方等への接遇・介助の基本を、専門家や障害当事者が講師になって行う研修です。今後の開催スケジュールは以下の通りです。

	日程	会場
首都圏	9月14日(月)、15日(火)	東京都交通局研修所 (東京都江東区東雲2-7-41)
関西圏	9月30日(水)、10月1日(木)	グランキューブ大阪 (大阪府大阪市北区中之島5-3-51)
首都圏	11月25日(水)、26日(木)	東京シティアターミナル (東京都中央区日本橋箱崎町42-1)



研修受講後のステップアップ

2026年度 上級交通サポートマネージャー研修

バリアフリー対応に関する社内教育や課題解決に効果的な「**障害当事者参加型の取組**」を推進する人材を育成することを目的とした研修です。

申込受付中！
お早めにお申し込みください

【日程】8月20日(木)

【会場】東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区海岸1-7-13)

【対象】サポマネ研修修了者 ※今年度修了した方も受講できます！

【定員】20名(先着順)

【研修のポイント】

- ✓講師のみなさんとの対話を重視した研修です。
講師と一緒に「**障害当事者参加型の取組**」を考え、**社内で推進するためのヒントを得ることができます。**
- ✓「**合理的配慮の提供**」に向けて、「**“対話”を通じてお客様のニーズを把握し、適切な対応を考える**」ためのポイントを学びます。



バリアフリー対応に関する知識や理解をさらに深めたい方、社内教育の充実や課題解決のための実践的な取組のポイントを学びたい方などにおすすめです！奮ってご参加ください！

【**障害当事者参加型の取組とは？**】

障害当事者とともに行う、バリアフリー対応の検討や社内研修などを行う取組

サポマネ研修全体に関する最新情報は
Webサイトをご確認ください

※二次元バーコードをクリックするとHPに移動できます。



講師コラム

【講師】天野 亨(首都圏講師)

2026年1月17日、私は6頭目の盲導犬と会うために、練馬区にある盲導犬訓練施設アイメイト協会にいました。その1週間前、5頭目の盲導犬「ファラッド」が引退し、新しい家族の家に連れて行くという悲しい旅をしており、その悲しみを抱えたままでした。

訓練所では午後一番で次の盲導犬、イエローのラブラドル・レトリバー「ポノ」を紹介され、早速外を歩く訓練を開始しました。ポノは外へ出られるのが嬉しかったのか、飛び跳ねるような歩き方で、僕は着いて行くのが大変です。訓練所の朝は早く、早朝5時半、身支度をして集合しました。指導員さんの指示で外へ出て、犬たちに排泄をさせるのですが、厳冬の練馬区はしばしば氷点下になり、寒さに震えながら犬たちの排泄をただただ待ちました。午前と午後1回ずつ、3キロほどの道のりを歩く訓練を行います。夕食後はミーティングをし、22時に就寝します。いつもなら「夜はこれから」という時間ですが、昼間の疲れですぐ眠りに落ちる日々でした。

盲導犬の役割は2つあります。「障害物を避けて歩くこと」と、「曲がり角や階段の手前で停まること」です。「盲導犬が目的地まで連れて行ってくれる」と思っている方も多いのですが、そうではありません。曲がり角などで停まった時、ユーザーが的確に指示することではじめて目的地に到着することができるのです。つまり共同作業をしているのです。信号の判断もユーザーがしています。時々間違えることもあるため、もし信号待ちをしている視覚障害のある方を見かけたら声をかけてくださると嬉しいです。

卒業試験は銀座、和光の前をスタートし、1丁目で銀座通りを渡り三越まで戻ってくるというコース。「天下の銀座を歩いた！と胸を張ってその後の人生を送ってほしい」との協会の願いから行われています。私もポノとその試験に挑みました。最初は順調でしたが、2丁目の角でポノが歩かなくなりました。訓練中から時々あったことですが、理由はどうにも分かりません。私は少し慌てましたが「まあ今日中に帰ればいいんだか」と気楽に考え、少し時間を空けたら歩いてくれました。帰りはスイスイ。あれは何だったのかと思うほどスムーズに三越前にゴールしました。理事長をはじめ、指導員の方々が労をねぎらってくださいました。そしてポノは合格し、盲導犬になりました。

あれから3ヶ月、毎日新しい事が起きます。激しい雨の中を歩いたり、卒業してすぐにドアや柱にぶつけられたりもしましたが、最近はどうも大丈夫、ポノちゃんはしっかり仕事をしてくれています。今までの盲導犬も可愛かったのですが、ポノちゃんはなんだか違う。ぼくが年を重ねたせいもあるでしょうが、とても愛おしく、まるで孫のように可愛いのです。「ポノちゃん、これからも楽しく仲良く、一緒に歩こうね」

この続きはフェイスブック「#がんばれポノちゃん」で検索してください。



▲サポマネ研修で盲導犬との歩き方の実演を行う天野さん

▲3キロほどの道のりを歩く訓練を行います。夕食後はミーティングをし、22時に就寝します。いつもなら「夜はこれから」という時間ですが、昼間の疲れですぐ眠りに落ちる日々でした。



ポノちゃん

バリアフリーに関する最新トピック

令和8年度からの新たなバリアフリー整備目標が公表されました！

国土交通省が、令和8年度から令和12年度までの5年間を対象とする新たなバリアフリー整備目標を公表しました。この整備目標では、ハード・ソフト両面からバリアフリー化をさらに推進するための目標値が示されています。

ハード面では、旅客施設や車両等の整備に関わる目標値の引き上げや対象範囲の拡大が行われており、ソフト面では、心のバリアフリーの推進に向けて整備目標が見直され、新たに「障害の社会モデル」の理解度などの項目が追加されています。詳細は国土交通省のHPにてご確認下さい。



※二次元バーコードをクリックすると国土交通省のHPに移動します。